

地域密着型サービス自己評価票

- 指定小規模多機能型居宅介護
(指定介護予防小規模多機能型居宅介護)
- 指定認知症対応型共同生活介護
(指定介護予防認知症対応型共同生活介護)

(よりよい事業所を目指して・・・)

記入年月日	平成19年11月15日
事業所名	グループホーム七宝
事業所番号	2375601370
記入者名	職名 氏名 黒鋤 洋子 ・ 大井 ユリ
連絡先電話番号	052-443-5501

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホーム開設より、理念をかかげ明るく、楽しく、のんびりと施設ではなく家庭的に近い環境づくりに努めている	
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	週1回カンファレンスを実施して、意見交換により見直し対応をする また、月1回各フロアの問題点など合同カンファレンスを実施し改善に努めている	
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	家族へは、入居時に説明をしている 2ヶ月に1回運営推進会議を開催し少しずつ理解を深めている	
2. 地域との支えあい			
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	ホーム周辺を散歩されている方々へ、挨拶をするように努めているが立ち寄って頂けるほどのつき合いはしていない	<input type="radio"/> 地域でのイベント等に参加し、交流を除々に深めていきたい 気軽にホームへ来て頂けるように、行事等を開いた際、近所へこえを掛けていきたい 散歩時、気軽に挨拶を交わす
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	一部の入居者さんのみ町の敬老会へ参加をしている 現状では、地域活動の参加は見られない	<input type="radio"/> 町内ゴミ拾い、行事(祭り等)へ少しずつ参加していきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	法人で定期的に開催される介護セミナーへの参加をよびかけている		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	個人差はあるが、日々努力している 評価結果を回覧して、改善策を検討する	○	評価後、改善策を話し合い改善できるところから取り組みたい
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ホームでの活動内容や入居者さんの状態報告等をし、その都度メンバーからの意見を求めている		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	管理者が主に介護保険証の更新手続き等の際、入居者さんと一緒に役場を訪問しつながりを持つように心がけている		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	学ぶ機会はあるが、法人宝会老健施設七宝園の相談員が担当しており、現状においては対象の入居者もない	○	
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	日々、あつてはならないと注意をしている	○	親しみからの言葉使いで、入居者さんに不快な思いをさせてはないか、我が身を振り返る

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p> <p>関連施設、七宝園の相談員が行っている。当施設では、携わっていない。</p>	○	ホーム入居の際、ご家族の要望をできる限り聞くようにしている。(外部者として話を聞いてもらう。)
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> <p>コミュニケーションを密にとり、話しやすい環境作りに努めている できる限り入居者さんの立場となり、ご家族とも連絡を取り必要に応じカンファレンスする</p>	○	関連施設へ協力を得て、利用者の意見を反映していきたい。 意見をホーム新聞など作り知らせていきたい。
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p> <p>月1回のお便りを郵送。個々にあわせ面会、電話を通して報告をしている。 職員の異動等については報告していない。</p>	○	職員の異動等についてはお便りにてお知らせを検討する
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> <p>意見箱の設置している 運営推進会議へご家族代表1名出席 面会時、電話で話を聞き、反映させている。 外部へは、外部評価時にアンケートを記入して頂いている。</p>	○	関連施設では、家族会が開かれているが、当施設のみ家族会を開いていきたい。
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p> <p>カンファレンスで意見交換をしたり、管理者との面接をしその都度話を聞けるように心掛け可能な範囲で努めている</p>	○	今以上に話せる機会を増やしていきたい。
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p> <p>人員配置に限りがあるものの、必要な時は、調整に努めている。</p>		
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの職員による支援が受けられるよう配置異動を行い、職員が交代する場合でも、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> <p>定期的なユニット間での配置移動の際は、入居者さんへの配慮に努めている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	介護実践研修の参加を随時申し込みをしている 他の講習会、研修への参加をしている	
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人による勉強会、母体が同じグループホームとの意見交換やG・H協会による地区意見交換会に出席している	
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	法人主催の職員旅行や忘年会等の親睦会がある ホーム内でも親睦会を行っている ホーム内では、現場から解放されるスペースを設けている	
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	資格取得の声かけ、研修への参加 個人の年間目標を立て、実行するように努力している	○ 目標管理シートの達成度の確認をし、個々のスタッフレベル向上を図る
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	生活の中で日々観察をし、話し合いをしてその都度対応に努めている	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	関連施設相談員と母体病院と連携をとり、その都度対応に努めている 面会、電話の際に聞くように努めている ケアプラン実施時に生活の要望等を聞いている	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	対応したスタッフが速やかに対応しており、内容によっては母体病院、関連施設と連携をとり対応に努めている		
26	【小規模多機能型居宅介護のみ】 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	関連施設の相談員からサービス利用についての説明やホーム見学をしている	○	半日、1日と体験できるようにしていきたい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	生活の中で、外出したり、遊んだり、家事をともにやり馴染み関係を築いている		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	行事への家族参加の声かけ、ケアプラン実施にあたり要望を聞いたり、毎月生活状態等のお便りを郵送している状況に合わせ、面会時や電話で相談、報告を入れている		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	28と同様		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族へ任せており直接の支援はしていないが、面会者があれば面会等して頂いている	○	ご家族、入居者より情報収集し、入居者さん了解された上で支援していきたい
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	レクリエーション、外出、調理、おやつ実習、行事等の参加の声かけをし、生活の中でも、交流の場を提供するよう努めている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	実例がないため、行っていない	○	大切にしていきたいと願っている。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご家族より聞いたり、生活の中で、本人とコミュニケーションを図りながら把握に努めている		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前のサマリーや家族からの情報収集をし、生活の中でも本人より聞き把握に努めている		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	記録や申し送りで把握に努めており、生活の中で入居者さんが出来ることはやってみよう、いつも心身状態の把握している		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご家族へは要望など聞くが、「特にない」と言われることが多い 入居者さんへは伝えてはいるが、生活の中での情報収集を元に作成している	○	理解の出来る入居者さんには、ケアプランの説明を取り入れたい 作成は担当者が行っているが、全職員の意見も取り入れ情報の共有を図る
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状況に応じプランを作成しているが職員だけの話し合いになっている 状態変化の際はプランを見直し、ご家族に連絡をしている 毎月評価をおこなっている	○	毎月のお便り、面会、電話を利用していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別に記録、申し送り、カンファレンスを行い、活かしている		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	【小規模多機能型居宅介護のみ】 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	可能な範囲内で支援している		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、公民館、図書館、その他公共的施設などの協力を得ながら支援している	当施設として、ボランティアにきて頂いたり、消防訓練を行っているが、本人の意向や必要性に応じているかはわからない		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や生活支援上の必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、介護保険外も含めて他のサービスを利用するための支援をしている	他のサービスを利用するための支援は、行っていない 関連施設のケアマネジャーと連携体制は整っている		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	対象者はいないが、地域包括支援センターとの協働は得られる		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	母体病院との連携が出来ており、毎週1回往診へきて頂いている	○	夜間の対応を検討していきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	母体病院(精神科・認知症高齢者対象の患者)があり支援している		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	入居者さんの状態を把握しており全面的に支援している		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	母体病院、他病院であっても関連施設相談員が入院先のワーカーとの連携し調整に努めている		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	母体病院と連携をとり、共有しているが、本人へは伝えていない 終末期のあり方について、話し合ったことがない	○	重度化や終末期のあり方について、本人、家族より要望を聞き、体制を整えていきたい
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	毎週、主治医の往診があり、状態観察により重度化となった場合は母体病院に入院体制がとれる		
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	開設より他施設への転居された時は、状態報告書により情報を伝えている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	対応の際は、いつも心掛けている 情報資料は全てシュレッダーしている	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	個々に合わせた支援をしている	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	行事等に関しても、その都度、入居者さんに声かけし意見を取り入れている 日常生活においては、個人の生活スタイルに合わせ援助している	○ 全職員が、気持ちに余裕を持って仕事をしていきたい
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	起床時、入浴時等、本人に衣類を選択してもらい、整髪等支援している 週1回、美容師に来て頂いている。予約(5名まで)カット、毛染め、顔剃りがある	○ 行きつけの店があれば、個別で行けるようにしたい
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	個々に合わせた支援をしている	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	当施設としての制限はあるが、個々に合わせて支援している	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	個々に合わせた排泄支援をしており、オムツ使用は最終的な排泄支援と考えている	○	排泄支援は、特に配慮して対応している
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	当施設では入浴日が決まっており(週3回月、木、土)、個々に合わせた入浴支援が出来ていない	○	個々に合わせて、ゆっくり入浴してもらっている毎日、いつでも入浴が出来るようにしたい
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	個々に合わせて支援している 足の冷たい方へ湯たんぽを使用し、安眠を促している		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活の中で見出して、個々に合わせた支援している 個別外出、隔週の外出、年4回遠出外出、ボランティアの催し物、クリスマス会、誕生会、調理実習、関連施設にて夏祭り、運動会実施をし、気晴らしを図っている		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個別にはお金は所持をしていない 外出の際は、入居者さんに支払いをしていただく	○	個人に合わせて、金銭の支援をしていきたい
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	希望時の外出の支援は行っていないが、外出機会がある時には、声かけし出かけられるようにしている	○	希望時に外出出来るようにしたい。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	個別外出、喫茶外出、遠出外出を行っているが、家族参加の呼びかけはしていない	○	家族に参加して頂き、より良い関係作りに努めたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ダイヤルはスタッフが押しているが、希望時、電話は出来る家族了承の上、手紙のやりとりを行える	○	ダイヤルは本人に押して頂くよう支援したい
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	ご家族の許す範囲での面会はできるお茶をだし、ゆっくりして頂くよう工夫をしている		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全職員が全てを理解しているか分からないが、分かる範囲で取り組んでいる	○	正しく理解する上で、勉強会を開いたり、資料を回覧したい
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、環境や利用者の状態を考慮しながら鍵をかけないで安全に過ごせるような工夫に取り組んでいる	鍵は夜間のみ(19時～翌朝7時)状況により施錠するが殆ど解錠している 玄関は人の出入りをわかりやすくするため、チャイムが鳴る		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	各職員、声かけをしながら、努めている		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	ハサミ、針は基本的に職員管理としているが、他は個々に合わせ対応したい	○	個々に合わせ、ハサミ、針も持って頂きたい
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	転倒、窒息について勉強会実施している 火災は、避難訓練実施 カンファレンスや日々の申し送りで事故防止に取り組んでいる	○	定期的に勉強会を実施する 状態に応じ、防止策をカンファレンスノートへ記入し話し合う

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	マニュアルがあり、全職員が対応できるようになっている 勉強会実施している	○	勉強会、講習、訓練の場があれば参加したい
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防訓練はオープンより1回しか実施しておらず、身に付いていない 近所への働きかけはしていない	○	近所への働きかけに努め、災害対策を考えていきたい
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	家族への説明は、その都度行っている 職員はカンファレンスで話し合っている		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	バイタル測定、記録、申し送りをして状態観察により速やかな対応をする		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬説明書の確認、母体病院からの説明があり、症状の変化の確認に努めている。	○	服薬時、職員間でチェックする(Wチェック)
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	生活の中での生活リハ、日課としているラジオ体操、リハビリ体操の実施している 食事に関しては、ゼネラルフードさんに任せている	○	散歩を日課として取り入れたい
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	食事後、口腔ケアの声かけ、介助する	○	口腔ケア拒否者の対応策を考えていきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	メニュー表にてカロリー表示 ゼネラルフードさんが管理 水分摂取量の少ない方、DM食の方は、記録し把握に努めている	○	DMの方は、特に注意し支援をしている
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	年1回、母体病院の往診にて、インフルエンザを入居者さん、職員実施する 手洗い、うがいの実施 掃除の際、ハイターを薄め、掃除をしている	○	資料を回覧し、予防対応策に努めている
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理器具は、食洗機にて、洗浄、乾燥を行っている 毎日、ふきん、台拭きは除菌している 調理実習の食材は、安全な食材の使用管理に努めている		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	花や木が植えてあり、スロープも設置してあるが、近隣の人 が出入りすることはほとんどない	○	親しみやすく、安心して出入りできるよう、地域、近隣の方々と関わっていきたい
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節にあった花を飾ったり、掲示物貼りを努めている 状況により、対応している	○	入居者に玄関に飾る生け花を行って頂いている
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファと食堂テーブルがあり、利用者同士で過ごされたり、TV を見たりされている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	当施設は、持ち込み可として、居心地のよい居室を提供している		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	個々に合わせ対応している。 事務所にて温度調整と換気を行っている	○	各居室場所により、温度が異なるため、各居室に温度計を設置してもよいと思う
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりの設置、段差のない建物になっている 車椅子用のトイレの設置 盲目の方に、壁の角が当たらないよう、危険箇所には、保護をし手すりには触って分かるようヒモをつけて、自立支援をしている。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	場所ごとに貼り紙を貼っている 各居室へは、名札をつけている		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	畑、花壇の手入れ、散歩、日光浴をしている 季節の花、野菜を育てている。(ナス、トマト、キュウリ)	○	動物を飼ってみたい ベランダに洗濯物を干すため、出入りにくい状態であるので、出入りしやすいように検討していきたい

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・身体的変化や日常生活の中で問題がある時は、カンファレンスノート等を通して全職員が情報の共有し改善に取り組み個別ケアに努めている。
- ・母体施設での勉強会、ホーム内の勉強会に積極的に参加し認知症ケアに努めている。
- ・行事（関連施設との夏祭り、運動会）、年4回の遠出外出、調理実習など入居者さんとともに楽しんでいます